



# Preoperative sarcopenia is a predictor of postoperative pulmonary complications in esophageal cancer following esophagectomy: A retrospective cohort study

Makiura, Daisuke

---

(Degree)

博士 (保健学)

(Date of Degree)

2017-03-25

(Date of Publication)

2018-03-01

(Resource Type)

doctoral thesis

(Report Number)

甲第6898号

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/D1006898>

※ 当コンテンツは神戸大学の学術成果です。無断複製・不正使用等を禁じます。著作権法で認められている範囲内で、適切にご利用ください。



論文内容の要旨

専攻領域 リハビリテーション科学領域
専攻分野 運動機能障害学分野
氏名 牧浦 大祐

論文題目(外国語の場合は、その和訳を( )を付して併記すること。)

Preoperative sarcopenia is a predictor of postoperative pulmonary complications in esophageal cancer following esophagectomy: A retrospective cohort study
(食道切除術を受ける食道がん患者において術前のサルコペニアは術後呼吸器合併症の予測因子である:後ろ向きコホート研究)

論文内容の要旨(1,000字~2,000字でまとめること。)

近年、高齢がん患者が増加している一方で、年齢は必ずしもがん外科治療の予後規定因子にならないことが指摘されており、高齢者が持つ多様性をいかに評価するかが重視されている。高齢者特有の症候であるサルコペニアが、外科手術後の予後に影響を与える可能性が指摘されており、本研究では、サルコペニアの国際的な診断基準を用いて、食道がん患者のサルコペニアと術後合併症の関連、サルコペニアと周術期の機能的変化の関連を検討した。

対象は、2011年6月から2015年4月までの間に、食道がんに対して食道切除再建術を施行した患者104例とした。サルコペニアの診断は、Asian Working Group for Sarcopeniaの診断基準に従い、術前の筋肉量の低下と身体機能の低下から診断した。身体機能の低下は、握力の低下または歩行速度の低下から判定した。術後合併症の定義は、米国胸部外科学会のガイドラインに準じ、術後30日以内に発生した呼吸器合併症と心血管系合併症、感染合併症、手術関連合併症とした。周術期の機能的変化は、体重、除脂肪体重、握力、Short Physical Performance Battery、倦怠感と健康関連QOLの尺度であるFunctional Assessment of Chronic Illness Therapy: Fatigue(FACIT-F)とFunctional Assessment of Cancer Therapy-General(FACT-G)をそれぞれ測定し、術後30日の値から術前の値を減じて算出した。統計解析では、Fisherの正確確率検定を用いてサルコペニアと術後合併症発生率との関連を検討し、リスク因子と術後合併症との関連について単回帰分析を行い、単回帰分析でP値が0.10未満であった項目を独立変数とし、術後合併症を従属変数とした多重ロジスティック回帰分析を行った。すべての統計解析において、有意水準は5%未満とした。

対象者の29例(27.9%)がサルコペニアと診断され、75例(72.1%)が非サルコペニアと診断された。サルコペニア群では、非サルコペニア群に比べて、術後呼吸器合併症の発生率が有意に高かった(37.9% vs. 17.3%, P=0.04)が、その他の術後合併症や周術期の機能的変化とは有意な関連を認めなかった。多重ロジスティック回帰分析の結果、サルコペニア(オッズ比3.13, 95%信頼区間1.12-8.93, P=0.03)と喫煙指数であるブリンクマン指数(オッズ比3.46, 95%信頼区間1.20-11.77, P=0.03)が、術後呼吸器合併症の独立した予測因子であった。

サルコペニアの評価は、食道がん患者の術後呼吸器合併症の予測に有用であることが示唆されたが、術後の心血管系合併症や感染合併症、手術関連合併症や周術期の機能的変化は予測しないことが示唆された。

指導教員氏名: 三浦 靖史

論文審査の結果の要旨

Table with columns for Name, Title, Reviewer Name, and Review Content. Includes reviewer names like 三浦 靖史 and 安藤 啓司, and a detailed review text in Japanese.